

西表島には、豊かで特色ある自然が広がり、たがいに関わりあいながらさまざまないきものが生活しています。島では、こうした自然の息づかいを感じることができます。



ホタルたちに やさしい心づかいを おねがいます

島では、イリオモテボタル、オオシママドボタル、ヤエヤマボタル、キイロスジボタルなどがみられます。



ヤエヤマボタル



イリオモテボタル



オオシママドボタル



キイロスジボタル

ホタルが光るようすは、種ごとにちがいます。
いちど目にしたら忘れられない体験になるでしょう。
ホタルを見に行くときは、
つぎのような心づかいをおねがいます。

ガイドさんと一緒に

ホタルを見に行くときは、ホタルのことをよく知っている地元のガイドさんと一緒に行動しましょう。



もち帰らないで

西表島のホタルは、西表島や周辺の島々でしかみることができない希少ない生きものです。決して、もち帰ったりしないでください。

ホタルのであいをじゃましないで

ホタルが光るのは、おもに、オスとメスがであって子供をつくるためのコミュニケーションです。わたしたちが不用意に光を使うと、大切なであいをじゃましてしまいます。



やぶや草むらに入らないで

生まれつき飛ぶことができず、やぶや草むらの中の地面で光るホタルもいます。道のわきのやぶや草むらに入ると、こうしたホタルを踏みつけてしまうことがあります。また、サキシマハブにかまれるおそれもあります。

光の使い方について

- 安全確認など必要なとき以外には、なるべくライトを消して観察しましょう。
- 人工光はホタルにとって強い光です。なるべくペンライトなどの弱い光を使いましょう。
- ライトを直接ホタルにあてないようにしましょう。また、ストロボ撮影はしないようにしましょう。
- 自動車のヘッドライトもホタルに影響することがあります。明るいうちから出かけ、少しはなれたところで自動車をおりて、歩いて観察にいきましょう。
- ライトには赤色フィルターをとりつけましょう。ただし、赤色フィルターも万能ではないので、必要なとき以外にはライトを消すことが大切です。
- 点滅する光には、ホタルがとくに反応してしまうことがあります。自動車のウィンカーなどをつけっぱなしにしないようにしましょう。